

在職障害者定着支援事業

～在職障害者のスキル向上と職域開拓をめざす～

事業背景

障害者雇用率の引き上げ(平成25年4月1日より1.8%⇒2.0%)、精神障害者の雇用義務化(平成30年4月より)等、今後も、民間企業における障害者雇用拡大が求められている。

国等を中心に求職者向け就労支援が進められているが、様々な特性の異なる障害者の離職を防ぐための定着支援の取り組みも必要。

また、堺市内の就労移行支援事業所から、事務職への就職者の割合は全国の障害者の事務職への就職者の割合と比べて低く、事務職の職域開拓により、今後の障害者雇用の拡大が期待される。

事業概要

1. 在職障害者IT訓練

在職障害者を対象に、ビジネス実務に必要な実践的スキルを習得させるためのIT訓練を実施する。

2. 障害者定着支援・企業における職域開拓

訓練生及び企業担当者に対し、仕事をする上での悩みや問題点等の相談を受け、企業における円滑なサポートができるようマニュアル化する。またIT訓練内容の類似業務を障害者が担うことができるよう、訓練生の業務範囲の拡大や新規雇用の提案により職域開拓を行う。

3. 障害者雇用の取組事例の発信

訓練生や企業の取組を市内企業に発信し、今後の障害者雇用の取組拡大に寄与できるよう、事例集を作成する。

実施体制

委託業者: 障害者就労支援関連NPO、人材ビジネス企業

IT訓練対象者: 在職障害者でITスキルの向上をめざす方

IT訓練実施期間: 40時間程度(3～4ヶ月程度)

募集人数: 20人程度(10人×2クール)

当初予算: 8,385千円(平成26年度当初予算)

※起業支援型地域雇用創造事業(緊急雇用創出事業)を活用

事業イメージ

障害者就労支援関連NPO・人材ビジネス企業等

・IT訓練
・就労サポート相談

・就労サポート相談
・定着支援マニュアル
・事務職の職域開拓

在職障害者

障害者雇用企業

取組事例を市内
企業に発信